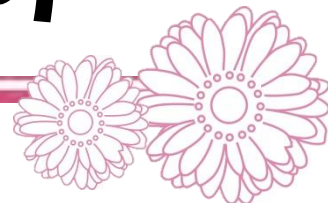


コスモスの花だより

No.50



特集 特別教室コスモス

新型コロナウイルスにより生活環境が変わってしまった子どもと保護者の方々に寄り添いたい思いの臨時の講座です



こどもの作品です



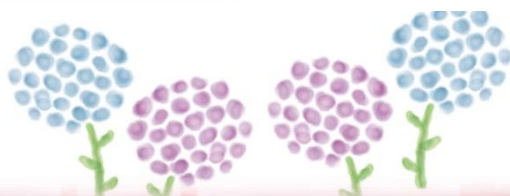
人気のおもちゃと本

理事長だより・ご報告

講座別利用人数

匝瑳市マザーズホーム

「コスモスの花」講座案内



児童発達支援センター コスモスの花・児童発達支援事業所 匝瑳市マザーズホーム
放課後等デイサービス コスモスの花・千葉県障害児等療育支援委託事業所

特定非営利活動法人 コスモスの花 発行人 前本 達男 発行日 2020年6月16日

〒289-0407 千葉県香取市仁良1-1-9 4-7 TEL0478-70-7373 FAX0478-70-7372
E-mail : kosumosu-hana@hyper.ocn.ne.jp HPアドレス : <https://www.kosumosunohana.com/>



理事長だより

2020年6月4日
前本達男

新型コロナウイルス感染症はパンデミックとなり世界を席卷しています。日本にもこれほどまでに深刻な影響を及ぼすと1月末ころの時点で誰が予想したでしょう。今や普段の生活まで一変し、誰もが目に見えない病原体に怯える毎日です。

福祉分野では、事業継続の必要性と感染予防をどう両立させるか、どこも難しい舵取りをせまられました。福祉施設は、最後の砦のようなところがあり、高齢者であれ、成人であれ、児童であれ、可能な限り継続しました。厚労省からも福祉施設は可能な限り継続するように要請がでていました。現実には両立は難しく、日本のあちこちで施設内感染が生じたのはご承知の通りです。

そんな中で、NPO法人コスモスの花はどうしたのでしょうか。若干揺れ幅のある経過をたどりました。それは保育所と連動していることとも関係していました。

3月末の近隣施設におけるコロナ集団感染等で一気に「集団は怖い」的な反応が生じたように思います。無理からぬものとはいえ、コスモスの花の教室も例外ではなく、利用の自粛があり開店休業に近い状態になりました。香取市・東庄町の保育所・幼稚園・こども園が全園休園となってからはそれが一層顕著になりました。これは、コスモスの花の教室が「親子参加」型であることも一因と考えられました。「親子参加」自体は、幼児の療育では世界的にみても標準的な形態で、お子さんとの関わり方の練習にもなるものです。しかし、それは社会が普通に機能していて、学校も保育所/幼稚園も職場も回っていることを前提にしたものだったのです。この前提がすべて崩れた社会的危機の時に、親子で来ることは負担増にしかなりません。

通常の福祉は、高齢者/成人/放課後等デイサービスとも、障害によって何らかの機能に欠けがあり、それを補うために介護負担が生じ、それを埋め合わせることが福祉(マイナスを減らす)となっています。幼児の障害の有無が、まだはっきりしない段階での親子支援は、それとは逆の上乗せ型の福祉(プラスを増やす)だったのです。

コロナ禍では、上乗せ型福祉は機能しません。それは、社会状況が危機の時に困っている親子の役に立たないということを意味しました。保育所・幼稚園全園休園でお子さんがずっと家にいる時、困るのは日常の育児負担です。その負担軽減(マイナスを減らす)のためには「預かり(親子分離)」が必要でした。コスモスの花がこだわって維持してきた「親子参加」型の療育が、それだけで

は非常時に何のお役にも立てないとの現実を突きつけられ、つらい時に機能しない福祉施設とは何なんだと、私たちの存在理由を考え直しました。

具体的には、コスモスの花の教室は4月13日(月)から休止としました。休止期間中も個別随時に教室や外遊具を利用していただくこととしました。自粛期間の初期は、集団に行くことでの感染の恐怖が勝っていたように思いますが、徐々に家で過ごす育児が肉体的にも精神的にも疲労が濃くなっていました。そんな中で4月28日、香取市から6月30日まで市内全園休園延長との発表がありました(実際は5月31日で終了)。これ以上家で過ごしてもらおう訳にはいかない、1か月は耐えられても3か月は絶対無理、との判断で、ゴールデンウィーク明けの5月7日から「預かり療育」を開始しました。これは2007年(平成15年)にコスモスの花が発足以来、17年目で初めての取り組みです。療育を直接行う児童指導員の多くは保育士ですから、特に問題なく実施できました。同時に、親といない時のお子さんの様子を知ることができ、保育所/幼稚園での先生方の苦労がしのばれました。6月1日からは香取市と東庄町の保育所/幼稚園の再開がありましたが、そのまま親子参加と単独通所(親子分離・預かり型)を併用して実施しています。残念ながら送迎をする余裕はありませんでした。今後の課題です。

放課後等デイサービスは、コスモスの花では午前の児童発達支援のスタッフがそのまま放課後等デイサービスに入る、という変則体制をとっているため、平日朝から預かる休日体制を実施できませんでした。利用者さんは皆さん近隣放課後等デイサービスにお世話になっていただきました。大変な中お世話してくださいました関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

匝瑳市の状況は香取市とは大きく異なっていました。匝瑳市内の保育所/幼稚園は休止がなかったため、多くの利用者さんは登園を継続していました。そのため匝瑳市マザーズホームは感染予防を重点に置き、教室は休止し、個々にマザーズの園庭・教室を遊びの場として使ってもらう形をとりました。多くの方々が親子で利用していただきました。預かりではありませんでしたが、家の外で親子の時間を有意義に過ごしてもらった一助になったと思います。6月1日から人数制限はありませんが、全教室再開となりました。どうぞご利用ください。

NPO 法人コスモスの花は、香取市の本部(児童発達支援センターコスモスの花)と匝瑳市マザーズホームの2カ所で施設運営をしています。今回のコロナ禍では、最初は両施設で統一した対応をしようと思ったのですが、それぞれの自治体で感染の状況や保育所/幼稚園の続行・休園の様子が違い、家族のおかれた状況が大きく異なっていた

ため、途中からそれぞれに合わせた対応に変更しました。

やっと学校が再開しました。しかし今なおコロナ禍のもとにあり、今後どうなるか予断を許しません。コスモスの花・匝瑳市マザーズホームとも感染予防にしっかり取り組みながら、柔軟に対応していきたいと思っています。



ご報告



2020年6月1日

皆様に嬉しいご報告があります。

今年2月、コスモスの花に3台目の車がやってきました。今年度(2020年度)から、かねてからの懸案であった相談支援の開始を計画していて、そのために送迎車も兼ねて3台目の車両が必要となっていました。

厳しい財務事情の中、前本の大学時代の同級生に声をかけ寄付を募りました。あまり誉められたやり方ではないのかもしれませんが、背に腹は代えられません。大晦日も迫った年末からお正月をまたいでお願いし、総額約75万円のご寄付をいただくことができました。友人たちには心から感謝です。ありがとうございます。

いつも車の修理でお世話になっている加瀬モータースさんにご協力いただいて、中古車でホンダのフィット(空色)を格安で譲っていただきました。加瀬モータースさんにも感謝です。新規購入にて任意保険の費用もかさみましたが、何とか元手の範囲内で納めることが出来ました。

4月から大活躍・・・と思っていたのですが、コロナ禍での活動縮小・他施設との交流自粛等の影響で、今はまだ待機中です。往來が戻ったら地域のお子さんたちのために活用してい

きたいと思っています。どうぞよろしく願い申し上げます。

次に、東京にあります洲崎福祉財団から車両購入の補助として100万円の助成を受けることとなりました。今年2月に応募したところ採択されものです。このお金で、コスモスの花にあります古い小型車(マーチ)と入れ替えて、中古車ではありますが、スズキのソリオを購入することとなりました。色は黒です。福祉施設の車の色としては珍しいかもしれませんが、後部がスライドドアで中も広く、使い勝手がよさそうです。6月中旬から下旬の納車の段取りとなっています。

2年前に日本基督教団信濃町教会の皆さんからのご寄付で購入し、飯高特別支援学校への送迎に活躍しているセレナとともに、送迎車として使用する予定です。

今回採択して下さいました洲崎福祉財団に深く感謝申し上げます。

古いものも少しずつ更新して、いろいろな場面で皆様のご期待に添えるコスモスの花となっていけるよう、今後も務めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(前本達男記)



特別教室 コスモス



5/11~6/30(月~金曜日)

9:30~13:30

コスモスの花 プレイルーム

特別教室コスモスは、新型コロナウイルス感染症により、長引く自粛生活の中で子ども達の不安やストレス、日中の居場所、保護者ご家族の負担を少しでも軽減できるよう支援したいという思いで始めました。従来通りの保護者と一緒の参加、またはお子さんだけの単独参加のどちらでも受け入れさせていただき、楽しい時間を保護者様とスタッフで共有しています。

活動環境では、お子さんの触れる場所、物、使用した道具類、すべてをアルコール等を使用して消毒し、職員一人一人の体調管理及び感染予防に努めています。今後も安心して利用していただけるよう実施していきます。

(施設長:石橋博子)

特別教室コスモス登所



9:30～ お子さんのみの参加者は、お子さんとスタッフで入室しお支度。保護者の方には入口で持ち物・健康観察・家での様子等の聞き取りをします。不安そうに入室するお子さん、離れることで泣いてしまうお子さん、でも、少しの時間で楽しい思いを思い出して元気になっていきます。

親子で参加の方は、一緒に入室しお支度(タオル・コップ・かばん)をしてから保護者の方へ健康チェックや家での様子等の聞き取りをしています。保護者の方の不安や心配に感じていることを共有しています。



自由遊び

お支度が終わると「できたね。あそぼう。」というスタッフの声かけや誘導で、個々に好きな場所に向かっていきます。おもちゃ・本(全てを消毒す

るために数を制限して提供し、コーナーごとに間隔をあけています)で、じっくり遊ぶ。

お友だちと関わる、スタッフと関わる、お友だちの動きや遊びに興味を持つ、ささやかな出来事の中からの学びを積み重ねています。

10:20 声かけで予告し、ピアノの音でお片付けを始めます。ゆっくり1つずつ入れて、おもちゃにさようなら「できたね」おもちゃとさようならできずにスタッフと見守る子、我慢できず手



足バタバタの子もおもちゃのケースが見えなくなると切り替えて、朝の会用のイスを待つことができます。

朝の会

イスを自分で目印まで運んだら、みんなが揃うまで待ちます。「イス持てたね」「運べたね」「座れたね」少しの「できた」をほめています。そして、状況「〇〇ちゃんもきたね～」や、これから起こる事「ご挨拶しようね」「お返事は何番目かな？」を楽しく伝えています。

みんなが揃ったら(イスに座っていられなくても少し離れたところ、スタッフの膝の上・・・安心できる場所)あいさつ→うた→呼名→手遊び歌→「お～し～まい」

イスをスタッフの所まで運んで終わり。日々の積み重ねで流れを覚え、自分の出番を楽しみに待ってくれる子ども達の姿が見られます。



リズム体操

流れてくる曲に乗って、スタッフの動きを見て、身

体を動かす、または安心できる場所から見て楽しむ、そして状況を確認する。

それぞれのできた事を「かっこいいね～」「すてき」「よく見ていたね」楽しい思いを共有しています。

子ども一人ひとりの表現の違い、思いや個性を発揮してくれています。

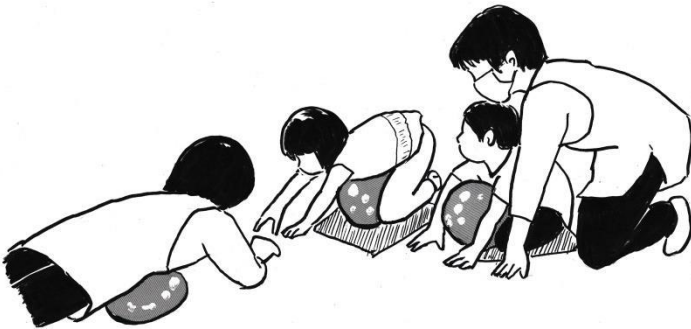


みんなで遊ぶ

個々のマットにお母さん又はスタッフ又はひとりで座り、道具が出てくるのを楽しみに待ちます。待ちきれずフライングする子も楽しみにしていることに共感しながら、一緒に待ってもらいます。

教材を使った動きをイラストやお手本を見て、又は少し遅れてもお友だちの動きを見て動き出すなど、個々の気づきやスタイルで楽しんでいきます。

活動が終わると、イラストを見ながら楽しかったことやできたことを振り返ります。



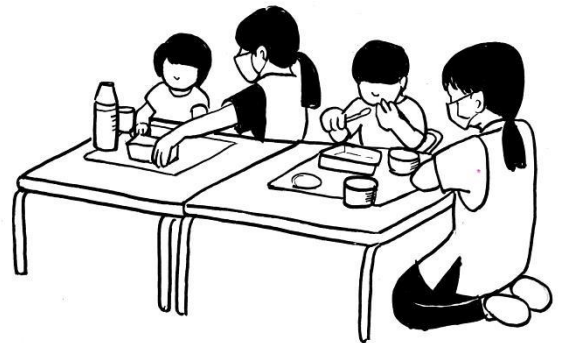
トイレ

トイレカードを受け取り、トイレに行くことを知らせます。一人で、できるお子さん、トレーニング中のお子さん、オムツのお子さんにも保護者やスタッフと一緒にトイレの個室に入り、すっきりさっぱりすることを一緒に喜んで、

出てきたら石鹸で手洗いし、アルコールで消毒してもらっています。

お弁当

テーブル、イスをスタッフがアルコール消毒し、一方向に座れるようにセッティングしてから座ります。お弁当の歌で食べ始まる合図。待ちきれないお子さんには手遊びなどをしながら待っています。保護者またはスタッフが間に入り食事介助をしています。「フォーク上手だね」「〇〇好き?」「おいしいね」楽しく笑顔で食べられて、ちょっと道具の使い方を補助しながらお子さん主導で食べる。そして「できたね」の声かけで笑顔も見られます。



静かに遊ぶ

全員が食べ終わったら、スタッフがテーブルとイスの消毒をして、ケースに入った玩具を出します。子ども達は“待っていました”とばかりに、好きなものを選びスタッフがイスに誘導し座って、じっくり遊びます。飽きたら片づけて違うものを選び、イスに戻ります。好きなもので遊べることでイスに座る事に抵抗がないお子さんが多いです。隣のお友だちの玩具で“遊びたい”と主張するお子さんには、「次に貸してもらおうね」とスタッフと一緒に「かして」と伝え、待っている子、違う玩具に切り替える子、反応はいろいろです。待ちくたびれてイライラして葛藤があることもあります。貸してもらえた時は、驚いたような嬉しいような表情を見せてくれます。朝の自由遊びとは少し違う周囲との関わりやルールを学んでいます。

13:15になるとお片付けをして、“さようならの会”を行い外遊具で遊びながら、お迎えを待ちます。

お迎えの方の姿を発見すると、みんなニッコリ(^^♪

保護者の方に、今日の様子をお伝えして「さようなら」



2020年1月～4月

児童発達支援センター講座別利用者

講座名	月	児童	きょうだい	保護者	運協費	合計	実施回数	児童平均	合計平均
杉の子	1	80	3	96	4	183	15	5.3	12.2
	2	80	4	87	1	172	14	5.7	12.3
	3	93	32	108	6	239	17	5.5	14.1
	4	7	2	9	0	18	5	1.4	3.6
ほかほか教室	1	16	7	17	0	40	11	1.5	3.6
	2	20	5	22	0	47	11	1.8	4.3
	3	30	14	31	1	76	12	2.5	6.3
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
B&G 杉の子	1	26	1	27	1	55	4	6.5	13.8
	2	25	0	25	0	50	4	6.3	12.5
	3	26	0	26	0	52	4	6.5	13
	4	1	0	1	0	2	1	1	2
のびっこ教室	1	28	2	30	0	60	3	9.3	20
	2	22	3	24	0	49	4	5.5	12.3
	3	28	4	26	0	58	4	7	14.5
	4	3	0	3	0	6	2	1.5	3
エンジョイダンス	1	1	2	1	0	4	1	1	4
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	2	1	3	0	6	1	2	6
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
ワクワクキッチン	1	1	0	1	0	2	1	1	2
	2	3	1	2	0	6	1	3	6
	3	3	1	3	0	7	1	3	7
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
言語教室	1	6				6	4	1.5	1.5
	2	7				7	2	3.5	3.5
	3	12				24	5	2.4	4.8
	4	0				0	0	0	0

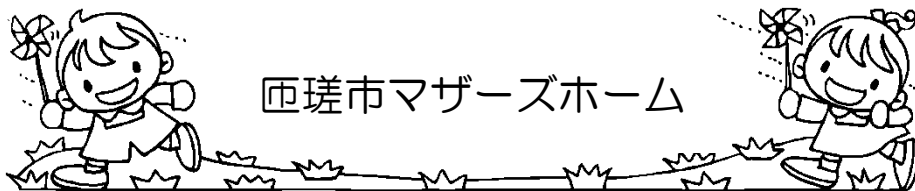
放課後等デイサービス利用者人数

講座名	月	児童	きょうだい	保護者	運協費	合計	実施回数	児童平均	合計平均
合気道	1	5	0	5	0	5	1	5	5
	2	10	0	10	0	20	2	5	10
	3	9	0	9	0	18	2	5	9
	4	3	2	3	0	8	1	3	8
ファイトクラブ	1	20	2	19	0	41	2	10	20.5
	2	24	4	23	0	51	2	12	25.5
	3	5	3	10	0	18	2	3	9
	4	5	0	3	0	8	1	5	8
エンジョイダンス	1	11	1	11	0	23	1	11	23
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	10	1	9	0	20	1	10	20
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
エアロビクス	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	6	3	7	0	16	1	6	16
	3	3	1	3	0	7	1	3	7
	4	1	1	1	0	3	1	1	3
ワクワクキッチン	1	6	1	6	0	13	1	6	13
	2	4	4	5	0	13	1	4	13
	3	5	3	7	0	15	1	5	15
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
放課後デイ	1	70				70	16	4.4	4.4
	2	74				74	18	4.1	4.1
	3	7				7	14	0.5	0.5
	4	0				0	0	0	0

日中一時支援講座別利用者人数

講座名	月	利用者	きょうだい	保護者	運協費	合計	実施回数	児童平均	合計平均
ファイトクラブ	1	7	0	7		14	2	3.5	7
	2	8	0	8		16	2	4	8
	3	5	0	5		10	2	3	5
	4	0	0	0		0	0	0	0
合気道	1	0	0	0		0	0	0	0
	2	0	0	0		0	1	0	0
	3	0	0	0		0	2	0	0
	4	0	0	0		0	0	0	0
エンジョイダンス	1	0	0	0		0	0	0	0
	2	0	0	0		0	1	0	0
	3	0	0	0		0	1	0	0
	4	0	0	0		0	1	0	0





匝瑳市マザーズホーム

今回は、この度の緊急事態宣言に基づき、匝瑳市マザーズホームでも教室を自粛する事態になったこと・その間の出来事について、書かせて頂きたいと思います。

2月には少しずつ世間がざわつき始め・・・、3月には、卒園式等を待つ世の中の動きがありました。匝瑳市マザーズホームでも、普段の教室に加え、卒園式は果たして出来るのか・・・そんな不安があったのを覚えています。

少しずつ自粛ムードが濃くなりつつある中、3月24日にはくるみ教室、27日にはどんぐり教室の卒園式を無事行うことが出来たのは奇跡であり、とにかく「良かった」の言葉でした。今年度は8名のお子さん達が卒園を迎え、それぞれが選んだ道へのスタートをきることになりました。この事態に学校はまだまだ軌道に乗らない状態となっているとは思いますが、一刻も早く、いつもの日々が戻ってきてほしい・・・そう願うばかりです。

さて、4月13日から、5月中旬を過ぎる頃・・・教室再開のめどは立たず、スタッフが順番で待機するという状態が続いていました。最初の一週間が静かに過ぎ、日が経つにつれて、家では過ごしきれないお子さん達が少しずつ、マザーズホームに遊びに来てくれることが増えました。子どもたちの顔を見ると、なぜかこんなにもほっとするんだなと感じたのを覚えています。世の中は動いているのだろうか・・・取り残されているのではないだろうか・・・そんな気持ちにもなりそうな時、やはり希望を与えてくれるのは、子どもたちの笑顔なんだなあ実感しました。

保護者の皆様には、毎週の電話連絡に対応して頂きましたこと、深く感謝いたします。いつも、お子さんたちの様子を教えていただき、ありがとうございました。

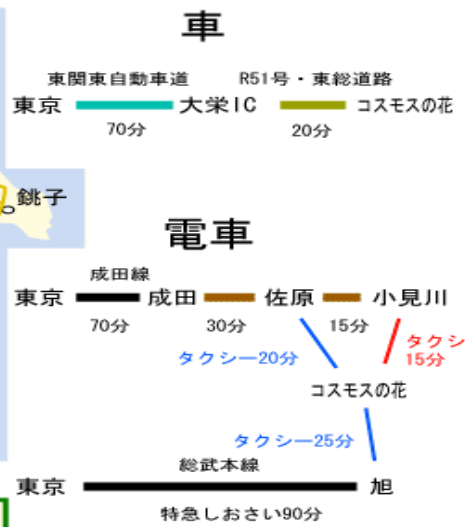
その中で、お子さんたちの成長話を聞いて、素直に嬉しいと感じました。もちろん、このような我慢の多い状況の中で、軽はずみな想いもどうかと自分でも思うのですが、「言葉が増えてきました」「やり取りが増えて楽しみが増えました」「遊びが変わってきて、ごっこ遊びが増えました」おうちの方から、このような言葉を聞く度に、ああ嬉しいなとやっぱり思います。このような状況下においても、子どもたちは日々たくましく、そして成長しているんですね。

今も、そしてこの先も、まだまだ緊張が続きます。再開の際には、匝瑳市マザーズホームでも、いろいろ対策を取りながら、それでも子どもたちと共に触れ合える喜びを感じていたいと思います。

令和2年5月25日

施設長 松本八千代





会員募集

- 法人の趣旨に賛同し、活動にご協力いただける方を
随時募集しております。
 - 1. 正会員…法人の総会に出席し、議決権を有し法人の活動に対し直接関与してくださる方
 (個人) 年会費 5,000円
 (団体) 年会費 5,000円
 - 2. 賛助会員…法人の総会への出席はなく、コスモスの花の活動を継続的に支えてくださる方
 (個人) 年会費一口 1,000円
 (団体) 年会費一口 1,000円
 - * 不定期な単発の寄付のみも随時受け付けております
- 特定非営利活動法人 コスモスの花

認定NPOを目指しています。

そのためには・・・
 3000円以上の寄付をして下さる方が
 年間100名以上おり、なお2年以上継続していることが条件となっております。
 賛助会費は寄付扱いとなります。
 ご協力いただける方は3口(3000円)以上で、
 お願い申し上げます。

認定NPOに認定されると、寄付金が
 税制上の優遇措置されることとなります。(税額控除)

* 講座案内 * * 詳しくはお問い合わせください

杉の子教室	月・火・木・金 9:30~ 7月再開	小集団の中で人との関わりを学び、楽しめることを増やす
B&G 杉の子教室	水 9:30~ 9:30~ 7月再開	広い室内で、体を動かしながら集団のルールや関わりを学ぶ
ぽかぽか教室	火・木・金 9:30~ 7月再開	体の発達がゆっくりなお子さんに合わせた遊びの中で成長を支援
のびっこ教室	土 9:30~ 7月再開	小集団の中で人との関わりを学び、楽しめることを増やす
ファイトクラブ	第2・4土 13:30~	小学生以上：体を動かし集団のルールや関わりを学ぶ
ワクワクキッチン	第3日 9:30~・13:30~	就学前・小学生(3年生まで) 料理教室
合気道教室	第1・3土 14:00~	小学生以上
エンジョイダンスクラブ	第4日 10:00~・11:10~	就学前・小学生以上 ダンスを楽しむ
エアロビクス	第2日 13:30~	小学生以上
言語	不定期	就学前
放課後等デイ	月~金 15:00~18:00	小学生~18歳

8月以降:余暇支援は曜日等が変更になります。詳しくはホームページ等でご確認ください。

巡回相談 香取市内保育所・こども園等に訪問させていただいています。